

# 元気

## まち物語

2014.8



### 下関造園クラブ

緑は人の心に「安らぎ・やさしさ・豊かさ」をもたらし、人々の暮らしの中で欠くことのできない重要な要素となっています。緑を造り・育てることを通じて、豊かな景観・環境を形成し守ることを目的に活動しているのが「下関造園クラブ」です。

#### 佐藤国際交流賞を受賞

下関造園クラブは、市内での緑化活動はもちろん、平成15年にはトルコ・イスタンブール市で日本庭園の建設に携わり、公園緑地分野において、日本と海外諸国との交流の推進に顕著な功績のあった団体などを顕彰する佐藤国際交流賞を今年5月に受賞しました。

日本庭園を整備するきっかけは、平成12年に、姉妹友好都市であるイスタンブール市から下関市に日本庭園建設についての協力要請が

あり、市の要請を受け、同クラブは現地調査を行い、現地の労働者を下関に招いて研修を行いました。その後設計に着手し、数回にわたってイスタンブール市で資材選定と技術指導を行い、平成15年に池や滝のある本格的な回遊式庭園である日本庭園が完成しました。その後、茶室の建築や、庭園の手入れなども行いました。イスタンブール市で技術指導などを行った理事長の森和義さんは「道具や資材の調達も思うようにいかない海外での庭園建設は、多くの苦労もありましたが、作業を通して現地の労働者と心が通じ合い、交流できたことがなによりうれしかった」と振り返りました。

#### 国際交流の推進

これらの支援に対し、イスタンブール市から下関市へチューリップの球根5万球が送られ、平成21年に火の山公園にトルコチューリップ園が整備され、毎年春には市民のみならず観光客の憩いの場となっています。この他、中国・青島市で10月25日まで開催されている、2014青島世界園芸博覧会

に出展している下関展示園も、同クラブの技術協力により完成しました。下関市は幅広い国際交流を行っています。イスタンブール市で行った日本庭園の整備はその礎となっています。

#### 緑に親しんでもらうために

同クラブは、市民にもっと緑に親しんでもらうために「花いっぱい夢いっぱいフェア下関市緑化祭」を市と共催し、園芸相談や各種講座を開いたり、モデル庭園の展示をするなどの活動も行っています。「これからは、商店街などまちの人と協力して、花と緑の街づくりを進めていきたい」と、森さん。下関の景観向上のため、緑化活動を続けていきます。

- ①イスタンブール市の日本庭園
- ②庭園整備に従事した造園クラブとトルコの人たち
- ③春に見頃を迎える火の山公園のトルコチューリップ園
- ④青島市の下関展示園
- ⑤昨年の緑化祭で、造園クラブが整備した草花
- ⑥クラブ理事会メンバー

